

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う 2020年度夏期ダイヤ期間における国際線の対応について(Rev.8)

新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う環境変化への対応として、新たに6月1日(月)～6月30日(火)における国際線運航便の運休・減便と、5月1日(金)～5月31日(日)における追加減便を決定しました。なお、物流維持の観点から、旅客機の貨物スペースを利用した貨物専用便を各方面で運航しています。

ご利用のお客さまにはご不便をおかけして申し訳ございませんが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

■ 2020年6月1日(月)～6月30日(火)の運休・減便概要

方面	計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
北米	12	12	780	755	97%
欧州	6	6	420	394	94%
東南アジア	14	14	1,080	1,032	96%
オセアニア	2	2	120	120	100%
東アジア(以下内訳)	20	20	1,800	1,732	96%
北京・大連・天津・上海・広州	11	11	960	952	99%
香港	2	2	120	104	87%
台北、高雄	5	5	420	376	90%
ソウル、釜山	2	2	300	300	100%
ハワイ・グアム	6	6	480	480	100%
合計	60	60	4,680	4,513	96%

■ 2020年5月1日(金)～5月31日(日)の追加減便概要

- ・ 羽田=バンコク線、成田=ハノイ、ホーチミンシティ、マニラ線での追加減便実施。
- ・ 羽田=ソウル(金浦)線、成田=高雄線での追加減便実施。

※ 下線部分が今回発表の路線の該当部分と変更箇所です。()内の数字は前回からの増分です。

方面	計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
北米	12	12	806	778	97%
欧州	6	6	434	398(2)	92%(1%)
東南アジア	14	14	1,116	1,050(32)	94%(3%)
オセアニア	2	2	124	124	100%
東アジア(以下内訳)	20	20	1,860	1,774(18)	95%(1%)
北京・大連・天津・上海・広州	11	11	992	984	99%
香港	2	2	124	90	73%
台北、高雄	5	5	434	390(8)	90%(2%)
ソウル、釜山	2	2	310	310(10)	100%(3%)
ハワイ・グアム	6	6	496	496	100%
合計	60	60	4,836	4,620(52)	96%(2%)

<減便数について>

【今回発表分】 6月1日～30日分(60路線、4,513便)と5月1日～31日分(7路線、52便)の、合計60路線、4,565便
 【夏期ダイヤ期間(3月29日～6月30日)合計】 60路線、13,643便
 【冬期ダイヤ期間(3月28日まで)合計】 48路線、1,860便

<方面、都市について>

※ 下線部分は5月1日～5月31日分追加減便の対象都市です。6月の減便は全都市対象です。

北米	シカゴ、ダラス・フォートワース、ボストン、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス、シアトル、サンディエゴ、バンクーバー
欧州	<u>ロンドン</u> 、パリ、フランクフルト、ヘルシンキ、モスクワ、ウラジオストク
東南アジア	シンガポール、クアラルンプール、デリー、ベンガルール、ジャカルタ、 <u>マニラ、バンコク、ハノイ、ホーチミンシティ</u>
オセアニア	シドニー、メルボルン
東アジア	北京、大連、天津、上海(浦東・虹橋)、広州、香港、 <u>ソウル(金浦)</u> 、釜山、台北(桃園・松山)、 <u>高雄</u>
ハワイ・グアム	ホノルル(オアフ島)、コナ(ハワイ島)、グアム

■ 貨物専用便の運航について

北米・欧州・東南アジア・東アジア・オセアニア方面において、物流維持の観点から旅客機の貨物スペースを利用した貨物専用便を運航しています。

参考:5～6月で各月約1000便(片道)程度の運航を予定

以上

※減便対象便・対象日詳細については別添資料をご参照ください。

今後の最新情報については JAL Web サイト

(<https://www.jal.co.jp/jp/ja/info/2020/inter/200514/index.html>)をご参照ください。